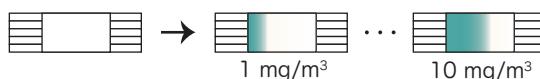


# DT20 キヌクリジルベンザレート(BZ)



実寸(約10cm)

感度	1 mg/m <sup>3</sup>
吸引量	ハンドポンプ 30 回吸引(1 回 100 mL), 自動ポンプ 3 リットル(3L)
色変化	キヌクリジルベンザレートが存在する場合: 白色から緑～青色に変色します。
	
反応原理	マルキス[Marquis]試薬(硫酸[sulphuric acid]とホルムアルデヒド[formaldehyde])との反応
解説	検知管は1つの指示層と1つのアンプル(試薬溶液入り)で構成されています。指示層は粉碎ガラスで形成され、その上にグラスワールの層があります。アンプルにはマルキス[Marquis]試薬が含まれています。
検出方法	<ol style="list-style-type: none"> <li>①検知管の両端を折る。</li> <li>②ハンドポンプで30回(1回100mL)または自動ポンプで3L空気を送る。</li> <li>③アンプルを割る。</li> <li>④よく振り、アンプル内の薬剤を指示層に浸す。</li> <li>⑤色の変化を確認する。</li> </ol>
選択性	既知のCWAのうち、BZのみ緑青色となります。 ただし、他の幻覚剤でも反応する可能性があります。たとえば、オピオイド[opiates]は赤～紫色の反応をする可能性があります。芳香族[aromatic]のガス状CWAは、CS剤:黄色、CR剤:黄色、アダムサイト[adamsite]:赤茶色など、異なる発色をする可能性があります。
干渉性	有機物質の燃焼で煤が存在すると、煤が指示層を黒く変色させる可能性がある。 ベンゼン[benzene]、トルエン[toluene]、キシレン[xylene]などの揮発性の高い芳香族物質は影響しない。
温度	10～50 °C (10 °C以下では加熱が必要)
湿度	空気の相対湿度は10～90 %が最適